

令和４年度 恵那西中学校『学校運営協議会』の成果と課題

１ 本校のコミュニティスクールの特徴

（１）恵那西中学校 学校運営協議会 メンバー

	名 前	充 て 職	備 考
1	坪井 弥栄子（会長）	三郷地域自治区会長	三 郷
2	杉本 金一郎	三郷振興事務所長	三 郷
3	伊藤 浩二	令和３年度恵那西中学校ＰＴＡ会長	三 郷
4	中神 恒利（副会長）	長島町青少年育成町民会議会長	長 島
5	平野 圭	長島振興室長	長 島
6	富成 幸人	令和４年度恵那西中学校ＰＴＡ会長	長 島
7	瀬瀬 鎌一	武並町自治連合会会長	武 並
8	伊藤 昌広	武並振興事務所長	武 並
9	野中 茂樹	令和元年度恵那西中学校ＰＴＡ会長	武 並
10	楯 博子	恵那西中学校長	学 校
＜事務局＞ 恵那西中学校 教頭 水野 浩			

※恵那西中学校区の長島町、武並町、三郷町から代表を選出していただき会員が構成されています。

（２）令和４年度 恵那西中学校 学校運営協議会の方針

- ・学校運営協議会のメンバーが代表となり、話し合うことで、地域と学校で「西中生に付けたい力」を共有していきます。
- ・学校から「地域にこんな人材がいれば力を貸してほしい」という思いを聞き、人材を集めたり、一緒に参加したりします。（地域人材を活用した授業等）
- ・地域から「こういうところで中学生の力を貸してほしい・・・」という思いを学校に届け、生徒が地域で貢献できるようにします。（ボランティアへの参加等）

（３）令和４年度 恵那西中学校 学校運営協議会 年間実績

① 年間４回の学校運営協議会の実施（５月、８月、１２月、２月）

- ・年４回の学校運営協議会を通して、学校と地域とで情報共有を図りながら、恵那西中学校の生徒が学校はもちろん、地域でも十分に力を発揮していけるようサポートをしていく。
- ・年間２回の学校運営連絡協議会を実施する。（７月、２月）

② 学校行事等への参画

- ・Weston Walking with Aketetsu III（ＰＴＡ共催行事：４月）の参加＆支援
- ・「防災の日の取組」への参加支援（地域学校協働活動推進本部主催行事：９月）
- ・朝の健康チェックボランティア（兼朝のあいさつ運動）への参加
- ・日頃の授業や行事〔体育大会（１０月）、合唱祭（１２月）など〕の参観

③ ボランティア活動への生徒参加支援

- ・年間を通して、地域の活動に生徒が参加し活躍できる場をつくり、学校のため、地域のために活躍しようとする生徒の想いを広げていく。

2 学校運営協議会の取組と成果

(1) 今年度の学校運営協議会

① 第1回学校運営協議会 令和4年5月16日(月)

○ 議題

- ・委員の委嘱(挨拶)
- ・自己紹介
- ・学校の経営方針について
- ・PTA活動方針について
- ・年間の計画について
- ・学校の様子等について など

○ 意見交流

- ・4/28のWWAは、快晴の空の下、実施できてよかった。特に長島地域自治区のみなさんには交通安全ボランティアで生徒の通行の安全を見守っていただき、充実した行事になった。感染対策も踏まえ、豚汁のふるまいをおやつに変えたこともよかった。一緒に歩く地域の方やPTAの参加もあり、大変よかった。
- ・年間を通して、地域に出て活躍する西中生にしていきたいと考えている。各種ボランティア等、活躍の機会があれば教えていただく。また、逆に学校からの要請でお願いしたいことがある場合も積極的に伝えていく。

② 第2回学校運営協議会 令和4年8月29日(月)

○ 議題

・活動報告

(宿泊研修、中体連、検察庁出前講座、ボランティア等)

・2学期の取組について

(恵那西中学校研究発表会について、WCFについて等)

○ 意見交流

- ・『朝の健康チェックボランティア』を募集している。地域の方で気軽に中学生の顔が見たい。という方をお願いをしたい。情報があればあげてもらえるとありがたい。
- ・夏休みに『検察庁出前教室』を実施したところ、30名余りの中学生が参加してくれた。裁判に興味をもつ生徒ということもあり、模擬裁判などでは、よく考え、しっかりとした意見を述べていた。さすが中学生という姿がありました。
- ・今年度の部活動での活躍は目覚しかった。生徒たちにも自信がついたことと思う。
- ・コロナ禍でも学校が元気に活動できるよう、考え、協力していきたい。



第2回学校運営協議会の様子
(令和4年8月29日開催)

③ 第3回学校運営協議会 令和4年12月9日(金)

○ 議題

- ・活動報告(体育大会、ボランティア参加のようす、合唱祭、拡大校内研究会等)

- ・今後の取組について [3学期の取組、3/9(木)卒業式について等]

○ 意見交流

- ・体育大会では、どの競技もよかったが、大縄などで学年が上がるにつれてタイムが早くなる様子が見事だった。団演技もよく練習したことが分かる素晴らしい姿だった。
- ・合唱祭、久しぶりに文化センターで開催できてよかった。響きがあるし、中学生で経験しておくことがよい。練習にも制限がある中でよく頑張った。特に3年生の合唱がよかった。
- ・通学路の安全に係る内容については、国土交通省多治見砂防国道事務所(瑞浪・多治見)、恵那市役所建設課、恵那警察、恵那交通安全協会に連絡していくとよい。

④ 第4回学校運営協議会 令和5年2月10日(金)

○ 議題

- ・授業参観（第3回授業参観に合わせ、30分間、授業参観を行った。）
- ・活動報告（新一年生半日入学、1年生地域巡り、2年生おしごと体験等）
- ・学校評価について（職員自校評価、保護者・生徒アンケートの考察等）
- ・令和5年度の取組について（年間行事等）※R5①学校運営協議会 4月18日(火)

○ 意見交流

- ・（授業参観より）生徒たちはタブレットを普通に使いこなして学習をしている。この一年ですらによく使えるようになってきている。私たちの頃のように一斉に先生の話聞く授業ではなく、グループ机や仲間のところに行き、議論しながら学習している様子が印象的であった。
- ・今年一年は制限が随分緩和され、行事なども随分コロナ前に近づけて行うことができ、生徒にとって本当によかった。『コロナ禍でも生徒のために何かできることはないか』という視点で学校運営協議会としても取り組んでいきたい。

(2) 学校運営協議会と学校とで連携して行った活動

① 「Weston Walking with Aketetsu Ⅲ」〔令和4年4月28日(木)実施〕

Weston Walking with Aketetsu Ⅲ（通称：WWA）は、「コロナ禍でも何かできる学校行事はないか？」と、生徒、先生、PTAが考え、2020年から始まり今年度で3回目を迎えた恵那西中の恒例行事である。「地域を知ること」と「仲間とやりきること」をねらいとして4月28日（木）に実施された。生徒たちは恵那駅から岩村駅までを明知鉄道で移動し、岩村駅から恵那西中まで約14kmの道のりを仲間と協力して歩ききる。当日は、初めて明知鉄道に乗り、窓の外の景色を眺めながら仲間と談笑し岩村に向かう姿や距離を重ねるにつれ疲労が出てくる仲間同士、支え合い励まし合いながらゴールを目指す姿などがあった。そんな生徒たちをサポートしようと、学校運営協議会が学校と地域自治区とをつなぎ、地域の大人が交通安全ボランティアとして道中の安全を見守ることでWWAを支えてきた。また、PTAがゴールでおやつを準備して待っているなど、学校、家庭、地域が一体となって取り組むことができた行事となった。



見守りの打合せ

PTAも一緒に

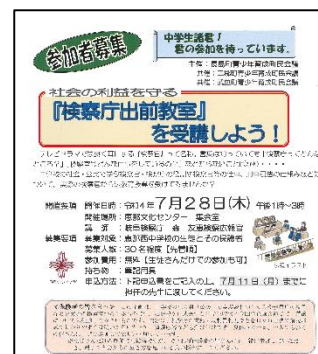
おやつを準備しお出迎え

道中のゴミも集めてきました

さらに今年度は、3年生から「何か地域の役に立ちたいと考えたので、道中のゴミを拾いながら歩きたい」という申し出があり、有志生徒たちで実施をした。すべてのゴミを拾えたわけではないが、5つのゴミ袋がいっぱいになるほどのゴミを集めることができた。ゴール後、生徒からは「ゴミがたくさんあって驚いた。一部だけれど拾うことができたことがよかった。自分たちができることとして、拾っていくことはもちろんだけれど、そもそもたくさんゴミを出さないように工夫することから始めなければ…」という感想が聞かれるなど、WWAを通して自分から学校や地域に貢献していこうとする思いを強くする姿が見られた。

②「検察庁出前教室」の紹介、実施

7月28日(木) 13時～15時に恵那文化センターにおいて、『検察庁出前教室』を実施した。実際に裁判所で働いている検察広報官「森友恵様」を講師としてお招きし、「中学校の社会科『公民』で学ぶ裁判のしくみや検察庁の役割などを実際の検察官から学ぶこと」を目的として、中学生やその保護者への授業を実施した。今回の授業は長島町青少年育成町民会議が主催し、三郷町、武並町の青少年育成町民会議が共催することで実現した。当日は30名余りの生徒が参加し、模擬裁判などを通して楽しく学ぶ姿が見られた。



講座案内のチラシ



模擬裁判に向けて、協議し、意見をまとめている様子

③ 中学校「朝の健康チェック」へのボランティア人材の紹介

学校運営協議会の折に、毎朝中学校職員が行っている「朝の健康チェックカードの確認業務」について、職員と一緒にやるボランティア人材の派遣要請が中学校からあった。そこで、各地区から学校運営協議会委員が人材を募ったところ、長島地区から参加の申し出があり、毎週月曜日と木曜日に2名の方に立っていただくこととなった。

参加した2名のボランティアは、カードの確認業務と共に、生徒と挨拶や言葉を交わす中で中学生のよさやすばらしさを見つけていたり、「いつもありがとうございます。」と感謝の言葉を伝える生徒の姿が見られたりするなど、中学生にとっても、地域の中で見守られていることを実感できるよい機会となった。



朝の健康チェックの様子

④「体育大会」「合唱祭」「日常の授業」の参観

With コロナの生活も一年以上が過ぎ、少しずつコロナ前の活動に戻ってきた今年度であった。学校行事においても、すべて中止ではなく、感染対策をとりながら実施する方向で進められてきた。そんな中、学校での生徒の様子を見る機会も多くあり、学校運営協議会としても、学校生活を見ながら気付いたことを助言していくことができた。

体育大会では、外での活動ということもあり、参観の人数制限はせずに実施し、参観スペースと待機スペースを分け、自分の子どもが出る競技の場合は参観スペースにて参加するという方法で実施した。参観を終えた学校運営協議会委員からは、「大縄跳び、一年生の姿を見て、上手だな、これまで練習を頑張ってきたのだなと思いました。二年生の姿を見て、縄の速さ、一体感、さすが先輩と思いました。そして、三年生の姿、もう圧巻でした。みなさんの姿から、仲間と一緒に体育大会に懸ける想いが伝わってきました。感動しました。」という声が聞かれた。

また、12月9日(金)に行われた合唱祭では、今年度は3年ぶりに恵那文化センターで開催することができた。感染対策ということで、各学級、学級曲1曲、マスクを付けての披露であった。参観した委員からは、「昨年、コロナ禍の中、体育館で実施できた合唱祭もよかったが、文化センターで行う合唱祭はさらに良い。美しい歌声がよく響き、聞いている私たちを感動させてくれる。マスク越しではあったが、中学生の一生懸命な姿に感動した。1年生の可愛らしい合唱から、3年生の堂々とした合唱と学年が上がるにつれて見るものを感動させる合唱でした。」などの感想が聞かれた。



体育大会（10月5日）、合唱祭（12月9日）、授業参観（2月10日）の様子

2月の授業参観の際に授業を参観した委員からは「どの授業でも十分にタブレットを活用し、昨年以上に生徒が使いこなしている様子が印象的だった。家庭科の授業では消費者として受けかねないトラブルを、実際に映像を見ながら自分ごととして考える様子が見られた。子どもが主体的に授業に臨んでいる様子が印象的だった。」などの声が聞かれた。

3 次年度への課題と計画

(1) 次年度への課題

- ・コロナ禍が終わりつつある今、何ができるかを考え、工夫ある取組を行っていく。
- ・学校内にとどまらず、地域の中で活躍する恵那西中学校生を育てていく。

(2) 令和5年度の計画

① 年間の計画

月	内 容	備 考
4 月	Weston Walking with Aketetsu IVへの支援 第1回学校運営協議会（4月18日）	
7 月	第2回学校運営協議会&第1回学校運営連絡協議会	
8・9月	『防災週間』『防災の日』の取組	
12月	第3回学校運営協議会	
2 月	第4回学校運営協議会&第2回学校運営連絡協議会	

② 地域、家庭、学校の結びつきをより強くする活動の推進

コロナ禍での制限もなくなりつつある今、生徒の活躍の場を学校内のみにとどめることなく、ボランティア活動等、地域で活躍できる中学生の育成を目指していく。また、学校運営協議会を中心としながら地域に開かれた学校づくりを進めることで、学校、家庭、地域の結びつきをより強固なものにし、生徒の成長を支えていく。

4 地域学校協働活動組織との連携

(1) 恵那西中学校区地域学校協働活動本部について

恵那西中学校区三小学校の地域学校協働活動本部のメンバーは以下の通りである。各地区の「防災に係る取組」など、今後も連携を図りながらそれぞれの地区の活動を充実させていく。

No	氏 名	役 割	地区	No	氏 名	役 割	地区
1	小栗 秀子	三郷小学校推進員	三郷	10	楯 博子	恵那西中学校長	
2	斎藤 輝雄	武並小学校推進員	武並	11	水野 浩	恵那西中学校教頭	
3	安田 和枝	長島小学校推進員	長島	12	桐山 明工	三郷小学校長	三郷
4	小林 敏博	三郷コミュニティセンター塾長	三郷	13	西尾 江美	三郷小学校教頭	三郷
5	渡邊 敬之	武並コミュニティセンター塾長	武並	14	土屋真由美	武並小学校長	武並
6	日比野千明	市民会館塾長	長島	15	西尾 浩	武並小学校教頭	武並
7	杉本金一郎	三郷振興事務所長	三郷	16	丸山真理子	長島小学校長	長島
8	伊藤 昌広	武並振興事務所長	武並	17	西戸 千穂	長島小学校教頭	長島
9	平野 圭	長島振興室長	長島				

(2) 恵那西中学校における地域と関わる取組について 各種ボランティアへの参加

「地域においても活躍する恵那西中学校生」を目指し、各種ボランティア活動に中学生が参加できるようにしてきた。コロナ禍での規制も少しずつ緩和され、地域における催しも少しずつコロナ禍前の状況に近づいてきた中、今年度も生徒が様々なボランティア活動に参加することを通して経験を積み、地域のよさや地域の中で力を発揮する喜びなどを味わうことができた。



さまざまなボランティアに参加し、力を発揮する中学生の様子

また、学校内においては、どんな催しにどれくらいの仲間が参加しているのかや様々なボランティアに参加した仲間の想いを、ボランティア通信を通して紹介してきた。そうする中で、「自分も誰かの役に立つことをしたい」や「〇〇さんのように、地域のために活動したい」というように、少しずつ活動の輪が広がっていくことにつながった。

今後も、学校内にとどまらず、地域の中で活躍する恵那西中学校の生徒を育てていくために学校と地域との連携を密にしながら取り組んでいきたい。さらに、地域から積極的に学校に関わっていくなど、学校と地域とが双方向で協力し合い、生徒の成長の支えとなっていくことを大切にしていきたい。



恵那西中 ボランティア通信